コウノトリ　　写真提供:第16回 コウノトリ写真コンクール　ニコン賞「いってらっしゃい」　冠野　順子 様

1971年に日本の空から姿を消した野生のコウノトリ。国内最後の生息地だった豊岡では、半世紀以上にわたりコウノトリの「いのち」を育む取組みが行われ、今では野外に200羽を超えるコウノトリが暮らしています。

Contents

当金庫の事業方針…… 03
当金庫の概況…… 04
但馬信用金庫と地域社会…… 05
中小企業の経営支援
　及び地域活性化への取組み…… 07
主な商品・サービスのご案内…… 11
おすすめ商品・サービスのご案内…… 14
主な手数料のご案内…… 19
総代会…… 21
役員・組織…… 23
たんしんのあゆみ…… 24
統合的リスク管理態勢…… 25
お客様に「安心」「安全」に
　お取引いただくために…… 27
財務の状況…… 35
注記事項…… 37
預金の状況…… 40
貸出金の状況…… 41
有価証券の状況…… 44
有価証券・為替の状況…… 46
経営指標その他…… 47
自己資本の充実の状況…… 50
店舗紹介…… 57
キャッシュコーナーのご案内…… 58

ごあいさつ

会 長　宮垣 和生

理事長　森垣 裕孝

平素は当金庫をご愛顧いただき、厚くお礼申し上げます。
本冊子は、皆様に当金庫へのご理解を一層深めていただくために作成したものでございます。
当金庫の業績、業務内容などについてご理解いただく一助になれば幸いに存じます。

さて令和３年度の金融経済環境は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らぐもとで、改善傾向にて推移しました。海外経済は、国・地域ごとにばらつきを伴いつつ、総じて見れば回復傾向にて推移しました。そうしたもとで、企業収益や業況感は全体として改善の傾向が見られますが、一方で雇用・所得環境を見ると、一部で改善の動きが見られるものの、全体としてはなお弱めとなっております。個人消費は、感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとで、改善傾向にて推移しました。しかしながら、２月以降の世界情勢の悪化に伴いエネルギー価格が急激に上昇しており、地域経済への影響が懸念されております。

令和３年度は、中期経営計画「原点回帰 新たなステージへの持続的な発展」（令和元年度～令和３年度）の最終年度として、持続可能なビジネスモデル構築のために、①顧客との接点の向上による地域密着型経営の強化、②組織力を発揮した提案力の向上、③継続的な信頼を得るための経営管理態勢の強化の３つを基本戦略として掲げ、取り組んでまいりました。

その中で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている事業者の方や地域の皆様に対して、感染症対応資金等の支援を通して金融仲介機能を発揮すると共に、withコロナ時代に適応した伴走支援に取り組んでまいりました。また、認定支援機関として、一時支援金、月次支援金の事前確認、事業再構築補助金の計画策定支援を積極的に行いました。創業支援については、地域クラウド交流会を開催し、当地における創業気運を高める取り組みを行ったほか、山陰海岸ジオパークちいクラを開催するなど、広範囲での活動も行っております。事業承継については、小規模事業者の事業承継を支援するために、豊岡市、ココホレジャパン株式会社と連携し、「豊岡市継業バンク」を立ち上げ、地域課題解決に向けた取り組みを行いました。

令和３年度決算につきましては、期末残高で、預金積金は4,810億7百万円、貸出金は1,812億85百万円となりました。当期純利益は、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入れ、資金の効率的な運用、経営全般の合理化に努めました結果、3億95百万円を計上すると共に、自己資本比率も21.75％と引き続き高い健全性を確保しております。

日銀によるマイナス金利政策は7年目に入り、低金利環境が継続する中、新型コロナウイルス感染症の影響は今後も一定期間続くものと想定されることから、信用リスクの増加等により、収益環境はより厳しい状況で推移すると見通しております。足元ではコロナワクチン接種による重症患者減少、経済活動回復等が期待されているものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の方に対しては、令和4年度についても金融仲介機能を発揮し、相談・課題解決への取り組み及びwithコロナ時代に適応した伴走支援を強化いたします。個人のお客様に対しては引続きニーズを的確に捉えた商品開発に努めると共に、人口減少、地域経済の縮小などの地域の課題に対しきめ細やかなリレーションシップバンキングを推進することにより他行との差別化を図り、持続可能な経営基盤の構築と健全性の維持に努めてまいります。

また、令和４年度～令和６年度にかけて取り組む新中期経営計画では最終年度が当金庫100周年となる節目であり、「スピードと実行力」をもって更にその先にある新たな扉を開くための挑戦を実践してまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

会 長　宮垣 和生
理事長　森垣 裕孝